

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名		都市計画審議会運営事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	事業部	課長名	中島 真由美
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	管澤 秀一
	施策の柱	16	計画的な市街地の形成			所属班	都市計画班	(内線)	2235
予算科目	会計一般	款8	項4	目1	事業連番10172	根拠法令	都市計画法		成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	都市計画法の規定により、都市計画の決定(変更)に際し、都市計画審議会を開催する。市街化調整区域での土地利用の需要の高まりにより、地区計画作成の要請が増えており、開催数は増えている。
【業務の流れ】	委員の選任、同意書徴集、委嘱状作成、都市計画法案・資料の作成、資料の配布、報酬・費用弁償の支払い
【主な予算費目】	報酬、費用弁償
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	審議会の開催数: 1回。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 資料作成・配布、合志市都市計画審議会の開催、都市計画の案の説明、委員の報酬・費用弁償の支払い
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 付議された案件数		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市全域の土地	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
→ ア: 付議された案件数		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な土地利用を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
→ ア: 承認された案件		
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
都市計画の見直し(都市計画の決定・変更)案について当審議会により慎重審議され承認されることにより、より良い土地利用が図られる		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
① 活動指標	ア	件	1	0	2	1	2	2	2	2	
② 対象指標	ア	件	1	0	2	1	2	2	2	2	
③ 成果指標	ア	件	1	0	2	1	2	2	2	2	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円				100				
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	59		131	59	31	142	142	142
		(A) 事業費計	千円	59	0	131	59	131	142	142	142
		(A)のうち指定経費	千円	37	0	0	0	82	142	142	142
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	5	4	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	150	150	150	160	150	150	150	150	
	(B) 人件費計	千円	597	597	597	594	597	597	597	597	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	656	597	728	653	728	739	739	739	

事務事業名	都市計画審議会運営事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 慎重な審議が必要な回数なされており、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市決定の都市計画は、都市計画審議会に諮らなければならないことが法律で定めてある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審議会は年2回の開催を予定しているが、事業費は定数に応じた委員の報酬・費用弁償のみを計上している。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委員に個々の都市計画の案件を理解してもらい、審議会を円滑に運営するためには、現状程度の人件費が必要である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 都市計画の決定 (又は変更) をする場合に必要な諮問機関であるので、一部の受益者に偏るものではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 都市計画を決定 (変更) する場合には、法律の規定により都市計画審議会に諮らなければならない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

都市計画決定事項 ・蓬原地区地区計画の決定

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						